

報道関係各位

2021年3月29日(月)

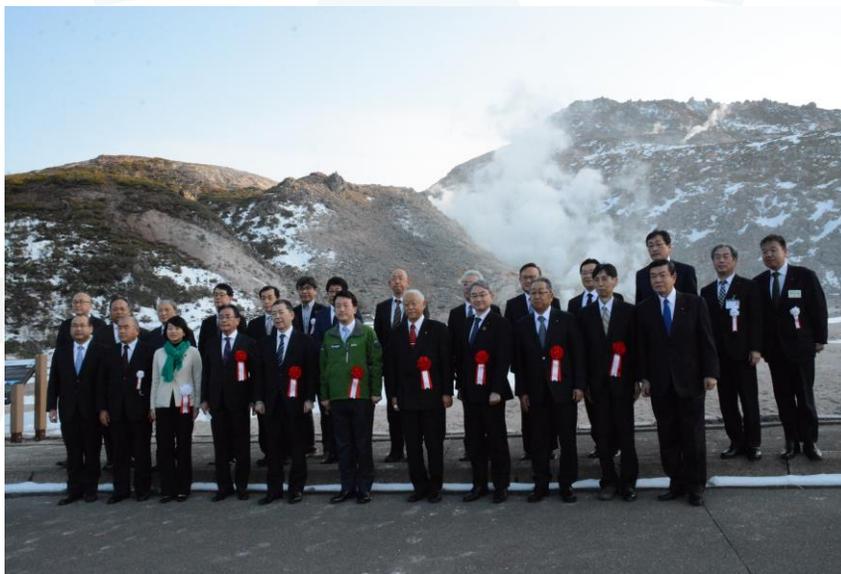
北海道エアポート株式会社

阿寒摩周国立公園活性化に向けた 摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定締結について

北海道エアポート株式会社（以下「HAP」）は、北海道弟子屈町（以下「弟子屈町」）、北海道、株式会社北洋銀行（以下「北洋銀行」）、釧路信用金庫（以下「釧路信金」）、環境省および株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」）の7者で、「阿寒摩周国立公園活性化に向けた摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定」（以下「本協定」）を締結しましたので、お知らせいたします。

なお本協定は、機構が観光庁との連携のもと2019年6月19日に設立した「観光遺産産業化ファンド」の活動の一環として締結されたものです。

弟子屈町、北海道、北洋銀行、釧路信金、HAP、環境省および機構は、本協定に基づき、阿寒摩周国立公園の摩周エリアの観光資源の磨き上げを通じ、地域活性化と自然環境の保護・保全の好循環による持続可能な観光のモデルづくりを協働で推進してまいります。



締結式後に川湯温泉の硫黄山を背景に行われたフォトセッション

【本協定の概要】

北海道・阿寒摩周国立公園を代表する自然である摩周湖、屈斜路湖を含む摩周エリアの大部分をかかえる弟子屈町は、日本最大の屈斜路カルデラ等が造り出した豊かな自然に恵まれ、国内外から、自然環境やそれらを活かしたアクティビティ、温泉地などを目的に、多くの観光客が訪れる地域となってきました。

これらの観光資源の魅力を高め、その価値を永続的に継承するためには、持続可能な観光地づくりを通じた地域活性化と自然環境の保護・保全の好循環を描くサイクルの形成を進めていく必要があります。

本協定は、弟子屈町をはじめとした摩周エリアにおける観光資源の磨き上げによる国内外からの旅行者誘致と、広域連携の促進、観光消費額等の増大を図り、地域の経済・雇用を支える基幹産業である観光産業の発展に向けた取り組みを推進し、もって、国立公園等の自然を活用した持続可能な地域づくりのモデル構築のため、7者で連携および協力することを目的としています。

【観光遺産産業化ファンドの概要】

地域経済活性化支援機構ホームページをご参照ください。

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

Hokkaido
Airports

<本件に関するお問い合わせ>

総務・人事部 広報課 0123-46-2990 (代表)